

Genius English Readings Revised

高度なリーディングスキルの養成



境 倫代

■2008年度センター試験を振り返って

2008年度大学入試センター試験での英語の出題に関して、傾向が変わったという声をよく聞く。図表を伴う問題や内容理解を求める問題などは従来から出題されていたが、今回はそれらに加えて、パラグラフのメイン・アイデアを問う問題、広告文・絵・図形・4コマ漫画などから必要な情報を読み取る問題など、単に字面を追って読んでいくだけでは対応できない問題が多く出題された。まさにリーディングスキルの必要性が鮮明に打ち出された出題傾向であるといえる。速読力に加えて、今後いっそうリーディングスキルの養成が授業の中で求められると考えられる。そんな要求に答えるかのように *Genius English Readings Revised* では Active Reading というコーナーを設けてリーディングスキルの習得を目指している。ここでは、パラグラフリーディングに絞ってどのような授業案が可能かを考えてみたい。

■授業実践例 (パラグラフリーディングの場合)

パラグラフのメイン・アイデアをつかむことがパラグラフリーディングの主たる目的といえる。その目標を達成するためには、あらかじめパラグラフの構成を理解させ、その後に具体的なスキルを紹介したほうが効果的であろう。その上で、実際の教材に取り組みせ練習させるという手順をとることにする。具体的な手順は以下の通りである。

A. パラグラフの構成

以下の3点について説明し、その中で1パラグラフの構成が文章全体の構成にも当てはまること

に気付かせ、最終的には文章全体のメイン・アイデアの把握に到達することを目標とする。

- ① 1つのパラグラフに1つのメイン・アイデア
- ② パラグラフの3つの要素
 - ・ 主題文 (Topic Sentence)
 - ・ 支持文 (Supporting Sentences)
 - ・ 結論 (Conclusion)
- ③ 文章全体はパラグラフ単位で、「主題」→「支持・説明」→「結論」という構成となる。

B. スキルの提示

次に以下の具体的な指示を与える。

- ① パラグラフの最初と最後の文に注目。
- ② キーワードを探す。何回も出てくる語に注目。
- ③ 筆者の意見を表すような言い回しを探す。

C. 教材を用いた Exercises

教科書本文を用いた指導例として、以下のよう

なものが考えられる。

(*Readings Revised*, Lesson 6 より)

Proverbs and sayings in many languages express the view that women are always talking:

Women's tongues are like lamb's tails — they are never still. — English

The North Sea will sooner be found wanting in water than a woman at a loss for words.

— Jutlandic

The women with active hands and feet, marry her, but the woman with overactive mouth, leave her alone. — Maori

When three women get together, they always prattle. — Japanese

Despite the widespread belief that women

talk more than men, most of the available evidence suggests just the opposite. When women and men are together, it is the men who talk more. Two Canadian researchers, Deborah James and Janice Drakich, reviewed 63 studies which examined the amount of talking by American women and men in different contexts. Women talked more than men in only two studies.

In New Zealand, too, research suggests that men generally dominate the talking time. Margaret Franken compared the amount of talk used by a female and a male “expert” assisting a female TV host to interview well-known public figures. In situations where each of the three was entitled to a third of the talking time, the man took more than half on every occasion.

So we may conclude that the stereotype of the talkative woman reflects sexist prejudice rather than objective reality.

Para.1

- ①Main idea を日本語で答えなさい。
- ②Main idea を支持するものとして提示されているのは4つの [格言]。

Para.2

- ①Topic sentence を抜き出さなさい。
- ②63の調査例のうち女性が男性より多く発話した件数は [2] 件。

Para.3

- ①Main idea を日本語で答えなさい。
- ②ニュージーランドの研究では、男性1人女性2人の中で男性が時間全体の [半分] 以上話した。

Para.4

- ①このパラグラフが全体のまとめであることを示す言葉は [conclude]。
- ②まとめの内容を日本語で答えなさい。

Para.1～Para.4

パラグラフ単位の構成を完成しなさい。

1 [問題提起]

→2 [主題] と [支持・説明1]

→3 [支持・説明2] →4 [結論]

D. 具体的な生徒への指導

できるだけ、Bで提示したスキルの原則に基づいて答えを出すように促す。そのためにはメイン・アイデアは主題文に含まれる可能性が高く、主題文は文の最初に提示される場合が多いということを押さえておく。これに基づくと、*Para.1*～*Para.3*の問①は第1文を抜き出すかあるいは日本語に直せばよいことになる。問②については、メイン・アイデアの根拠・説明に関する問であるので、第2文以降の中から答えを探すように指示する。*Para.4*ではまさに結論を明示するconcludeという語に注目させる。そうすれば自ずとそれに続くthat節内がまとめの内容とわかる。全体の構成を問う問題では、*Para.1*が「問題提起」として機能し、「主題」と「支持・説明1」が*Para.2*に混在した形となっていることに気づかせる。この場合、冒頭の段落が「主題」とはならない点に注意させる。*Para.4*はconcludeという動詞から「結論」の段落であるとわからせる。

以上がパラグラフフリーディングの授業例である。いうまでもないが、A、Bで示したパラグラフの構造やスキルの原則に当てはまりやすい教材の選択が重要である。

* * *

このように、速読、精読にとどまらず、パラグラフフリーディングの教材としても*Genius English Readings Revised*は有効である。さらに、他のスキルのトレーニングも決して不可能ではない。*Genius*は論説文を多く含んでいるので、スキニングのトレーニング教材としても機能する。もちろん新聞、広告、時刻表などを使えばさらに実践的な授業展開が期待できるが、*Genius*にはその点への配慮も忘れてはいない。

(さかい みちよ・京都教育大学附属高等学校)